

第1部 事業の概要

1-1 事業の概要

1 事業名

令和2年度専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業
専修学校と各地域の連携による「職業体感型教育」等の効果検証
専修学校の様々な取組を活用した職業体感型教育の効果検証事業

2 事業実施期間

令和2年6月5日～令和3年3月1日

3 事業の趣旨・目的

若年者人口の減少は地方においてより深刻であり、将来の労働人口、定住人口の減少は地方の衰退を招く大きな要因とされている。また、若年労働者においては、職業観や勤労観の不足などによる雇用のミスマッチや早期離職が大きな課題とされている。

北海道において専修学校は、卒業者の就職率も高く、また卒業生の多くは道内に就職するなど、地域の振興に大きく寄与している。

専修学校は職業教育機関として、豊富な経験と知見を蓄積してきており、本事業では中学生及び高校生に職業体験講座を開催するとともに、生徒への進路指導を担う教員等に対して適切な専修学校情報や職業に対する情報を提供する取組を行うことにより、職業・勤労に関してまた、専修学校に関して適切な情報提供が行われる取組を展開する。

加えて、専修学校、中学校・高等学校及び参加した中学生、高校生並びに中学校や高等学校の教員に対してアンケート調査を行い、これらの取組の効果を検証する。

これらの取組を「職業体感型教育モデル」とし、機関・団体が職業体感型教育等に取り組もうとする際の参考となる「開催マニュアル」を作成する。

また、本事業の初年度となる令和元年度に実施した「職業体感型教育に関する分析・評価」において、企業連携に着目した職業体感型教育の枠組みに注目し、引き続き今年度において「企業（就業）の観点からの職業体感型教育の意義と効果」に関して調査、分析を行う。

本事業の実施により、専修学校や職業教育に対する理解向上を図るとともに、中学・高校生の職業、勤労に対する理解向上、職業教育に関する教員の知見の深化により、職業適性のミスマッチや早期離職の減少に資する。

4 事業内容

(1) 中学生、高校生等を対象とした職業体験講座等の開催

これまで道内の中学生、高校生等に対して職業体感教育を実施してきており、これら開催実績を有する職業体験講座を活用して、中学生、高校生に対する職業観、勤労観の醸成と専修学校への理解増進を目的とした「職業体感型教育」等の効果的手法を検討した。

〔本事業において取組の対象とした職業体感型教育等〕

①次世代人材職業体験推進事業

中学生を対象とした体験講座：北海道補助事業

②進路探究学習オリエンテーリング事業

中学生を対象とした体験講座：札幌市教育委員会委託事業

③高等学校内キャリア教育プログラム

高校生を対象とした出前授業：連合会主催事業

④キャリアサポートセミナー

高校生を対象とした出前授業：北海道教育庁主催事業

⑤専門学校勉強会

高等学校教員を対象とした職業・職種や専門学校教育に関する説明会：連合会主催事業

(2) 職業体感型教育等に関する調査

- ・ 専修学校、中学校並びに高等学校など「職業体感型教育」の関係機関（者）に調査を行い、参加した際の意見を収集し、効果や課題等を検討する際の資料とした。
- ・ 専門学校に在籍する生徒に対して専門学校入学までの経緯等を調査し、専門学校への進路決定の経緯や保護者、担任などとの相談の状況などを把握し、検討の際の参考資料とした。

〔本事業で参考とした調査〕

①「次世代人材職業体験推進事業」に参加した中学生、中学校、専修学校に対するアンケート調査

②「進路探究学習オリエンテーリング事業」に参加した中学生、保護者、専修学校に対するアンケート調査

③「高等学校内キャリア教育プログラム」に参加した高校生、高等学校、専修学校に対するアンケート調査

④「キャリアサポートセミナー」に参加した高校生、専修学校に対するアンケート調査

⑤専門学校在学生の意識調査（専門学校2年生に対する調査）

（3）職業体感型教育モデル等に係る開催マニュアルの作成

これまで道内の中学生、高校生や高等学校教員を対象に展開してきた職業体感型教育等を参考に、機関・団体が職業体感型教育等に取り組もうとする際の参考となる「開催マニュアル」を作成した。

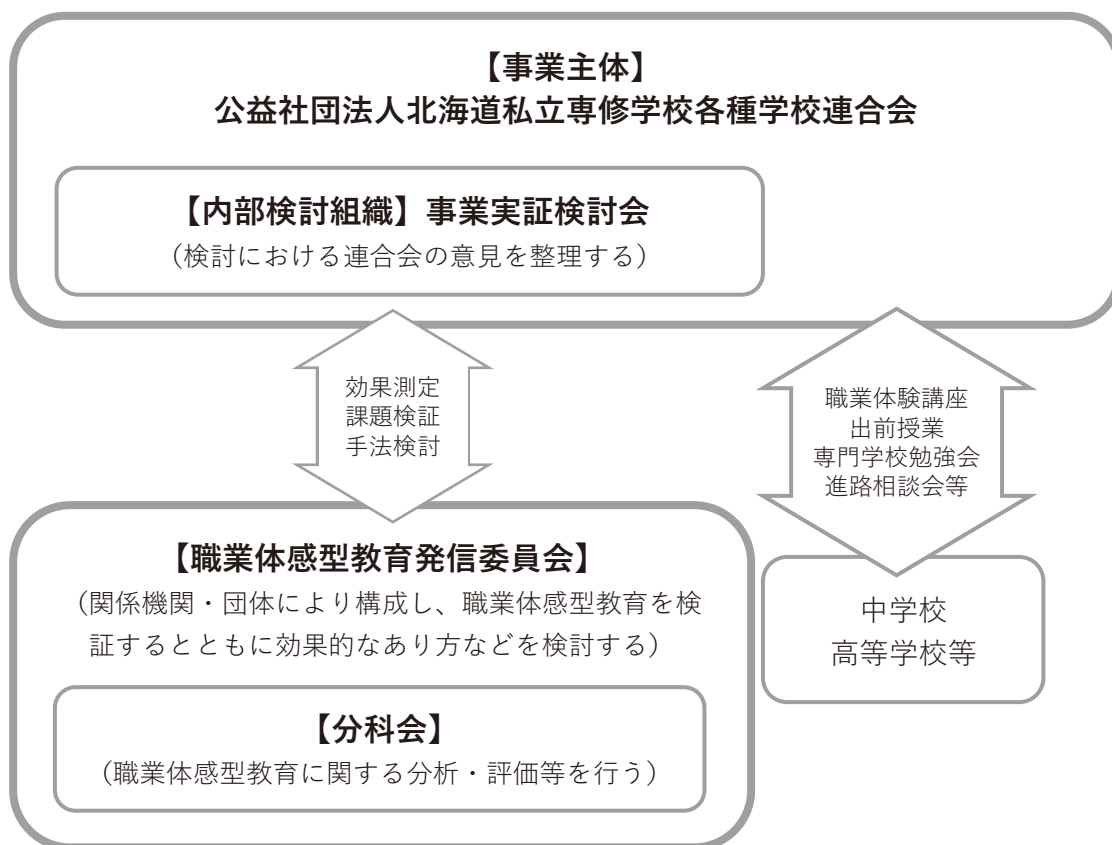
〔本事業で作成した開催マニュアル〕

- ①「次世代人材職業体験推進事業」
- ②「進路探究学習オリエンテーリング事業」
- ③「高等学校内キャリア教育プログラム」
- ④「専門学校勉強会」

（4）職業体感型教育に関する分析・評価

令和元年度に実施した「職業体感型教育に関する分析・評価」において、企業連携に着目した職業体感型教育の枠組みに注目し、今年度においては「企業（就業）の観点からの職業体感型教育の意義と効果」に関して調査、分析を行うとともに、報告書として取りまとめた。

5 事業の実施体制（イメージ）



1-2 組 織

1 職業体感型教育発信委員会・分科会

職業体感型教育発信委員会開催要領

1 目 的

文部科学省委託事業「専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発進力強化事業 -専修学校と各地域の連携による「職業体感型教育」等の効果検証- 」において、職業体感型教育の効果を検証するとともに、あり方を協議するため、「職業体感型教育発信委員会」（以下、「委員会」という。）を開催する。

2 構 成

- (1) 委員会の構成は別表 1 のとおりとする。
- (2) 委員会に委員長をおく。委員長は公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会の副理事長（広報企画担当）をあてる。
- (3) 委員会には必要に応じて、関係者を出席させることができる。

3 分科会

- (1) 委員会に分科会をおく。分科会は職業体感型教育に関する資料の収集、分析評価、検証などを行い、委員会における協議検討に必要な資料を作成する。
- (2) 分科会の構成は別表 2 のとおりとする。

4 設置期間

委員会の設置期間は、令和 3 年 3 月 1 日までとする。

5 事務局

事務局は、公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会におく。

6 その他

- (1) この要領は、令和 2 年 7 月 27 日から適用する。
- (2) この要領は、令和 2 年 9 月 18 日から適用する。
- (3) この要領に定めるもののほか必要な事項は、委員長が定める。

別表 1

所 属	職 名	氏 名
公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会	副理事長	布 川 耕 吉
同	副理事長	浅 井 洋 子
同	副理事長	野 又 淳 司
同	常任理事	倉 田 恵
同	常任理事	前 鼻 英 蔵
同	常任理事	齋 木 修 二
同	常任理事	山 口 伸 矢
同	理事	野 村 昌 昭
同	理事	柏 尾 典 秀
同	理事	浅 井 学
同	専務理事	横 山 和 博
北海道教育厅学校教育局	高校教育課長	唐 川 智 幸
札幌市教育委員会学校教育部	教育課程担当課長	佐 藤 圭 一
北海道高等学校進路指導協議会	会長	鈴 木 恵 一
北見市立常呂中学校 前北海道キャリア教育・進路指導研究会会長	校長	山 中 高 弘
北海道総務部法務法人局	学事課長	近 藤 史 郎
北海道経済部労働政策局産業人材課	職業訓練担当課長	向 平 浩 二
北海道経済同友会	常務理事	寺 澤 重 成
一般社団法人全国専門学校情報教育協会	専務理事	飯 塚 正 成
青森大学	学長	金 井 一 頼
大阪経済大学	教授	吉 野 忠 男

別表 2

所 属	職 名	氏 名
公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会	副理事長	布 川 耕 吉
同	常任理事	前 鼻 英 蔵
同	専務理事	横 山 和 博
青森大学	学長	金 井 一 頼
大阪経済大学	教授	吉 野 忠 男

2 事業実証検討会

事業実証検討会開催要領

1 目 的

文部科学省委託事業「専修学校と地域の連携深化による職業魅力発進力強化事業 -専修学校と各地域の連携による「職業体感型教育」等の効果検証- 」において、実務面から、事業の枠組みや方向性、検討内容などを整理するため、「事業実証検討会」（以下、「検討会」という。）を開催する。

2 構 成

- (1) 検討会の構成は別表のとおりとする。
- (2) 検討会に代表をおく。代表は公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会の常任理事（広報企画担当）とする。

3 設置期間

検討会の設置期間は、令和3年3月1日までとする。

4 事務局

事務局は、公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会におく。

5 その他

- (1) この要領は、令和2年7月27日から適用する。
- (2) この要領に定めるもののほか必要な事項は、代表が定める。

(別表) 事業実証検討会構成

常任理事	前鼻英蔵
理事	野村昌昭
理事	柏尾典秀
理事	浅井 学（キャリア教育プログラム実行委員長）
専務理事	横山和博
実行委員長	栗塚暁人（進学相談会実行委員会）
実行委員長	笠島史生（広報事業実行委員会）
実行委員長	船本幸司（専門学校理解向上実行委員会）

1-3 会議等開催状況

1 第1回事業実証検討会

(1) 日 時：令和2年7月27日（月）11時～13時

(2) 場 所：札幌ガーデンパレス 4階「真珠」

(3) 出席者：委員8名（うち1名はオンラインによる出席）

(4) 内 容：

- ① 開催にあたり、事業の枠組み及び今年度の取組の概要、スケジュール等について説明し、意見交換を行った
- ② 事務局から令和2年度に予定している次の取組について説明し、意見交換を行った
取組1：企業（就業）の観点からの職業体感型教育の意義や役割等の調査・分析・評価
取組2：職業体感型教育等の開催マニュアルの作成
- ③ 企業に対して行う書面調査の回答数について、調査の有効性を担保するため、必要に応じて企業団体の協力を得るなどして、十分な数を確保することとされた
- ④ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、WEBを活用するなどした職業体感型教育の新たな取り組みについても検討を加え、可能であれば報告書に記載していくことが意見として出された



2 第1回職業体感型教育発信委員会

(1) 日 時：令和2年7月27日（月）15時～17時

(2) 場 所：札幌ガーデンパレス 2階「丹頂」

(3) 出席者：委員17名（うち3名はオンラインによる出席）

(4) 内 容：

- ① 開催にあたり、事業の枠組み及び今年度の取組の概要、スケジュール等について説明した

- ② 事務局から令和2年度に予定している次の取組について説明し、意見交換を行った
- 取組1：企業（就業）の観点からの職業体感型教育の意義や役割等の調査・分析・評価
- 取組2：職業体感型教育等の開催マニュアルの作成
- ③ 各委員から事業の進め方、実施している「職業体感型教育」等に関して意見をいただいた



3 第1回分科会

(1) 日 時：令和2年9月16日（水）9時30分～11時30分

(2) 場 所：札幌ガーデンパレス 5階「すずらん」

(3) 出席者：委員3名

(4) 内 容：

- ① 委員から、企業への書面調査については回答率が高く、回答の多くで記述が有り具体的なデータが得られたことなどから、書面調査の回答を分析することで評価が可能との説明があった
- ② 同じく委員から企業への訪問調査について、訪問した企業からいずれも詳細な説明が得られたことから、調査結果は今後、書面調査と併せて分析・評価に活用していくこととされた



4 第2回事業実証検討会

(1) 日 時：令和2年10月15日（木）15時40分～17時20分

(2) 場 所：札幌ガーデンパレス 5階「あやめ」

(3) 出席者：委員7名（うち1名はオンラインによる出席）

(4) 内 容：

- ① 企業への書面調査及び訪問調査の概要と分科会での報告内容を説明し、意見交換を行った
- ② 今後の進め方に関し、これまでの進捗状況を説明するとともに、今後の作業内容とこれに伴う会議等の開催時期等を説明し、意見交換を行った。



5 第2回職業体感型教育発信委員会

(1) 日 時：令和2年11月26日（木）14時00分～16時10分

(2) 場 所：札幌ガーデンパレス 2階「丹頂」

(3) 出席者：委員16名（うち2名はオンラインによる出席）

(4) 内 容：

- ① 事務局から経過説明として、第1回職業体感型教育発信委員会以降の取組について説明した
- ② 審議事項1として、企業に対する書面並びに訪問調査の結果を説明するとともに、分析・評価の概要、まとめの方向等について説明した
- ③ 審議事項2として、北専各連が取り組んでいる職業体感型教育及び高等学校教員を対象とした専門学校勉強会の開催マニュアル素案について説明し、その後、審議事項に関して意見交換を行った
- ④ 事務局から今後の進め方として、委託事業完了までのスケジュール案について説明した



6 第3回事業実証検討会

(1) 日 時：令和2年12月14日（月）13時30分～15時30分

(2) 場 所：札幌ガーデンパレス 4階「高砂」

(3) 出席者：委員6名

(4) 内 容：

- ① 前回以降の取り組みを報告した
- ② 第2回職業体感型教育発信委員会における委員からの意見を紹介し、企業との連携に関する成果報告書への記載内容について協議した
- ③ 職業体感型教育モデルとなる4種の開催マニュアルについて、素案の概要を説明し意見交換を行った
- ④ 今後のスケジュールを説明し、進め方等について協議した



7 第3回職業体感型教育発信委員会

(1) 日 時：令和3年1月25日（月）13時30分～15時40分

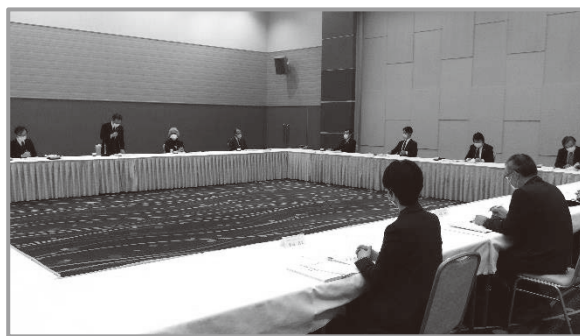
(2) 場 所：札幌ガーデンパレス 2階「丹頂」

(3) 出席者：委員14名

(4) 内 容：

①事業成果報告書案の内容を説明し、記載内容等について意見交換を行った

②事務局から今後の進め方として、委託事業完了までのスケジュール案を説明した



8 第4回事業実証検討会

(1) 日 時：令和3年1月25日（月）15時50分～18時00分

(2) 場 所：札幌ガーデンパレス 4階「真珠」

(3) 出席者：委員7名

(4) 内 容：

①事業成果報告書案の内容を説明し、記載内容等について意見交換を行った

②事務局から今後の進め方として、委託事業完了までのスケジュール案を説明した



